



すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ

東京都教育施策大綱

令和7年3月

すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び育つ東京に

- ◆ 東京都は、都政の新たな羅針盤である「2050東京戦略～東京 もっとよくなる～」を公表しました。「世界で一番の都市・東京」を実現するために、2050年代の東京の新たな「ビジョン」と、2035年に向けた「戦略」を描いています。
- ◆ 緊迫する国際情勢、人口減少・少子高齢化に加え、デジタルが急激に進展する大変革の時代です。未来を切り拓くのは「人」。その人を育てる「教育」は、言うまでもなく最重要事項の一つです。
- ◆ デジタルの力を活用しながらグローバルに活躍する人材を育成する、一人一人の子供の状況に応じたきめ細かな教育を充実させる、学校現場での働き方改革を一層推進するなど、これまで以上に柔軟な発想で、果敢に挑戦していかなければなりません。
- ◆ 予測困難な時代の中で、学びのあり方そのものも改革していく必要があります。デジタルとリアルの最適な組み合わせによる「新たな教育のスタイル」を、この東京からしっかりと展開していきたい。そんな思いのもと、この「東京都教育施策大綱」を策定しました。
- ◆ 新たな大綱に基づき、教育委員会と一体となって、子供一人一人に寄り添った政策を展開します。すべての子供が将来への大きな希望を抱きながら、自ら伸び育つ東京を創り上げてまいります。

令和7年3月

東京都知事

子供 下町に



CONTENTS



1 2050年代の東京の姿 P3

2 未来の東京に生きる子供の姿 P4

3 東京の目指す教育 P5

- 東京の目指す教育の実現に向けた3つの学び
- 東京型教育モデルをバージョンアップして「新たな教育のスタイル」へ
- 次世代の学びの基盤を作るプロジェクト[LPX]で教育を変えていく

4 特に重要で優先的に取り組む事項 P9

- 「新たな教育のスタイル」を都立高校から展開
- デジタルを活用した学び方の転換
- 世界を舞台に活躍できる人材の育成
- 一人一人の子供の状況に応じたきめ細かな教育の充実
- インクルーシブな教育の推進
- 子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化

各項目をクリックすると、該当ページをご覗いただけます

1 2050年代の東京の姿

すべての子供が希望を持って、自ら伸び、育ち、未来を創造



- これまでの**学びのあり方を東京から改革**し、社会の変化に柔軟に対応できる
「新たな教育のスタイル」により、自分らしく成長できる**自由で多様な学び**
が展開されている
- 予測困難な時代を生き抜く力を身に付け、**世界を舞台に新たな価値や**
経済を協創するグローバル人材を次々輩出している
- 教職員の働き方改革が進み、多様で優秀な指導者が、世界トップの人材を育成する
東京の教育の仕組みを日本の教育のスタンダードに

2 未来の東京に生きる子供の姿



自らの個性や能力を伸ばし、
様々な困難を乗り越え、
人生を切り拓いていく
ことができる

他者への共感や思いやりを
持つとともに、自己を確立し
多様な人々が共に生きる
社会の実現に寄与する

3 東京の目指す教育



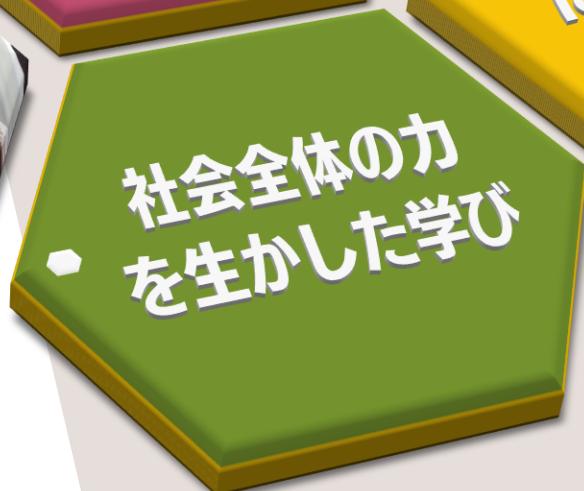
ポイント

- 子供たち一人一人が**個性**や**強み**を伸ばして、**自ら伸びようとする意欲**を高め、**自分らしく成長**できる
- 子供たちが、学校内外での学びが、社会や自分の将来とどのようにつながっているかを意識し、**学びの意義や意味を実感**できる
- 教育DXによって、子供たちが**いつでもどこでも、自分に合った学習の進度や方法**で学ぶことができる

誰一人取り残さず、
すべての子供が
将来への希望を持って、
自ら伸び、育つ教育

東京の目指す教育の実現に向けた3つの学び

- 子供一人一人が、何のために学ぶのか、学んだことがどう役立つかを実感、理解
- 子供一人一人の学習の進度や興味・関心の度合い、発達の段階等に応じた学びを追求

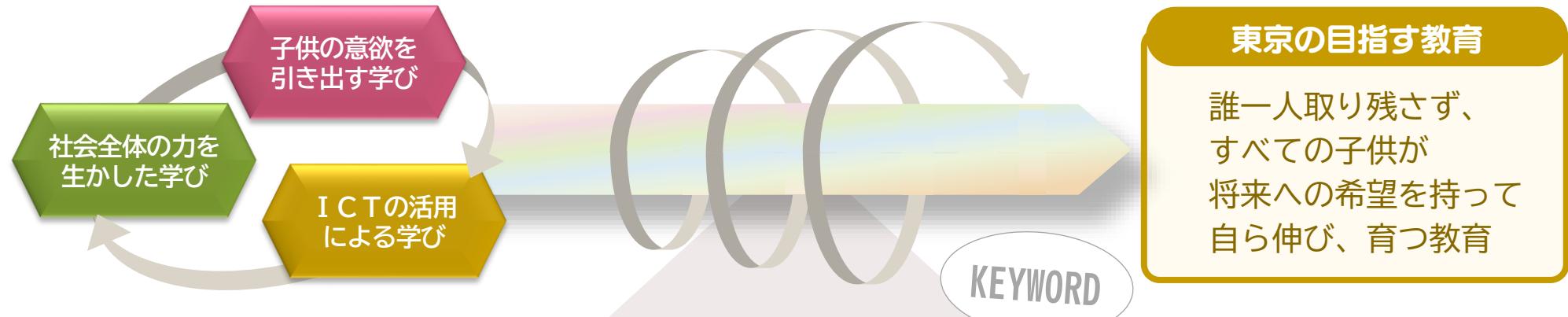


- ICTを活用し、何をどのように学ぶのかという観点から、一人一人に最適な学びと協働的な学びのベストミックスを図り、教え方や学び方を改革

- 子供一人一人のおかれた様々な状況に応じて、学校、家庭、地域、区市町村、関係機関等が互いに連携し、社会全体で子供の成長を支援

東京型教育モデルを「新たな教育のスタイル」へ バージョンアップして

東京の目指す教育の実現に向けて、3つの「学び」を有機的に連携させ、日々実践・改善



「東京型教育モデル」を

次世代の学びの基盤を作るプロジェクト *LPTX* *Learning Platform Transformation*

でバージョンアップ！

一人一人に最適な学びを実現するため、

学びのあり方そのものを見直し、「新たな教育のスタイル」を検討



多様な学びの場で、いつでも学べる



教職員は、子供の学びの伴走者になる



興味関心に応じた学びを実現できる



学びのデータを子供も教職員も活用する

次世代の学びの基盤 を作るプロジェクト [LPX] で教育を変えていく

世界の動きは、
これまでの常識を遥かに越える

急速に進む少子高齢化や人口減少

国際競争力の低下、DXの爆速的進化

就業・雇用形態の大きな変化

すべての子供たちが希望を持って、自ら伸び、育つためには

グローバルな環境で力を発揮
できる人材を育む教育が必要

柔軟な創造性

主体性

チャレンジ精神

これまでの学びのあり方を見直し、
「新たな教育のスタイル」に変革

2025

次世代の学びの基盤を
作るプロジェクト LPX
Learning Platform
Transformation

デジタルとリアルの最適な組合せ

このように変えていきます！

●場所・時間



学校のみならず、外部機関やオンライン等の
様々な場で、自分に合った時間割で学べる

●学習内容・指導者



教職員は子供の学びの伴走者となり、専門家等
と連携し、探究等の実践的な学びを展開する

●学び方



東京の資源を生かし、一人一人の知識や興味
関心に応じた学びを実現できる環境を整える

●学習成果・評価



子供が学びのデータを活用してアセスメント
や目標設定等を行い、自ら学びを創造する

4 特に重要で優先的に取り組む事項

「新たな教育のスタイル」 を都立高校から展開

東京発のデジタルとリアルを
融合した学習者中心の新しい学び



一人一人の子供の状況に応じた きめ細かな教育の充実

自分らしく成長できる多様な学び
の場と居場所を学校内外に整備



デジタルを活用した 学び方の転換

子供がICTも活用しながら、
学びのプロセスを自ら決定する授業



インクルーシブな 教育の推進

共生社会の実現に向け、多様な背景を
持つ子供たちが共に学び、共に伸びる



世界を舞台に活躍できる 人材の育成

言葉の壁を乗り越え、国内外の
課題を解決していく力の伸ばす



子供たちの学びを支える 教職員・学校の力の強化

学校における働き方改革の抜本的な推進などにより、教育の質を向上



「新たな教育のスタイル」を都立高校から展開



ポイント

- 先の見えない不確かな時代だからこそ、学校は、
変化に対応できる**柔軟な創造性、主体性、チャレンジ精神**等を育成することが必要。一方で、学校のスタイルはほぼ変化せず、制度疲労など限界も
- 学びのあり方そのものを見直し、**デジタルとリアルの最適な組合せ**による、**一人一人**の興味関心に応じた**新しい学び**を開発、都立高校から展開

東京発の
デジタルとリアルを融合した
学習者中心の新しい学び

施策例

- 次世代の学びの基盤 [L PX] の展開 を作るプロジェクト
- 新しい科目 (アントレプレナー)
シップ等
- 先端的な都立版の学習支援システムの導入
- 学校外の専門機関との連携
- 探究型の学びの推進 等

デジタルを活用した学び方の転換



ポイント

- デジタルの力を活用し、子供が、何をどのように学ぶかといった学びのプロセスを自ら決定し、物事を比較・分類するなどの思考のスキルを身に付けられるよう、学び方そのものを転換
- A I が急速に進展。端末や通信環境の整備といった単なるデジタル化の段階から、A I 等を活用した学びを日常とするステージへ

子供がICTも活用しながら
学びのプロセスを
自ら決定する授業

施策例

- 生成AIの活用促進
- デジタル教科書の導入
- デジタルを活用した
これからの学び
- TOKYOスマート・スクール
・プロジェクトの推進 等

世界を舞台に活躍できる人材の育成



ポイント

- 世界人材ランキングで、日本の語学力は下から数えて2番目。**英語力を伸ばしていくことは、世界に通用する人材**の育成につながる
- 海外での学び等を通じた**国際感覚**の涵養や、社会課題への挑戦を促す**アントレプレナーシップ**の醸成など、**イノベーション**を生み出して**未来を創造する力**を伸ばす取組を強化

言葉の壁を乗り越え、
国内外の課題を解決して
いける力を伸ばす

施策例

- グローバル教員の育成
- 海外派遣、国際交流の充実
- 英語スピーキングテスト
- A1学習教材の活用
- 起業家精神を育む教育 等

一人一人の子供の状況に応じたきめ細かな教育の充実



ポイント

- いわゆる不登校状態の小・中学生が過去最多を更新。子供たちの声に耳を傾け、**社会全体で一人一人の成長を支える態勢**が必要
- 子供が、自らの**個性や強みを伸ばして、自分らしく成長**できるよう、学校内外の**多様な学びの場と居場所**を整備し、**学校とのつながり**が全くない子供をゼロに

**自分らしく成長できる
多様な学びの場と居場所を
学校内外に整備**

施策例

- スクールカウンセラー等の専門人材の充実
- 不登校対応校内分教室「チャレンジクラス」の拡大
- 放課後や朝の居場所づくり
- 中学校35人学級 等

インクルーシブな教育の推進



ポイント

- 誰もが**ありたい自分を実現**し、一人一人の**個性を強み**として発揮できるよう、**多様な人々と交流**し、**共に学ぶ環境**を提供することが重要
- 多様な人が共に支え合う**共生社会の実現**に向け、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、**連続性**のある**多様な学びの場**を一層充実

共生社会の実現に向け、
多様な背景を持つ子供たちが
共に学び、共に伸びる

施策例

- 進学・就労支援の充実
- 専門人材の活用促進
- ダイバーシティの推進
- 特別支援学校と高校との協働

等

子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化



ポイント

- 人によってこの社会は支えられ、その中で人は自己実現を図っていく。一人一人の子供の状況に応じたきめ細かな教育と教員の自己実現、両方が大切
- 教員等の仕事の負担を軽減するBPX(ビジネス・プロセストランザクション)により、業務効率化を推進し授業の質の向上を図るとともに、外部人材の活用や校内の体制を強化し、学校全体の対応力を底上げ

学校における働き方改革の抜本的な推進などにより教育の質を向上

施策例

- 業務のアウトソーシング
- 在校時間の見える化
- 優れた教員の確保・育成
- 部活動の地域連携
- 東京都教育支援機構(TEPRO)による学校支援 等